

令和4年度農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会事例発表
名古屋文理大文化フォーラム（稲沢市民会館）
令和4年9月13日

名古屋市中川区供米田地区における 人・農地プランの実質化への取組

名古屋市農業委員会

1

名古屋市中川区供米田地域の概略図

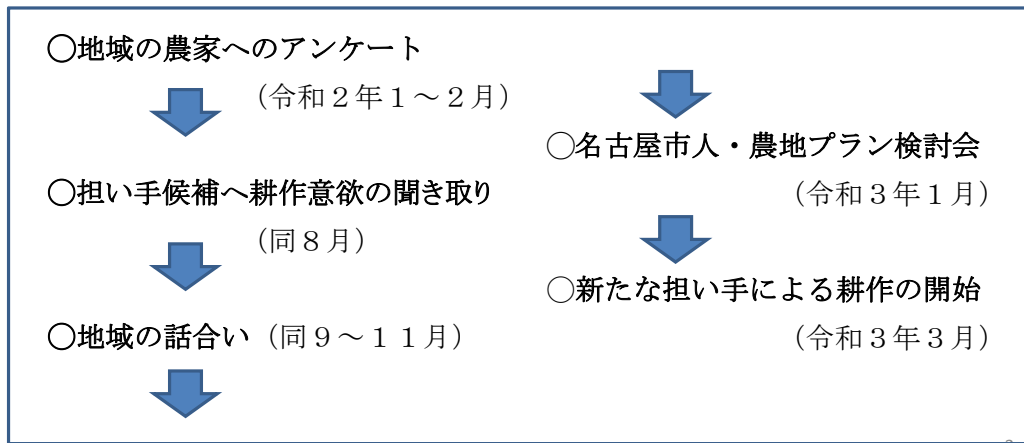


2

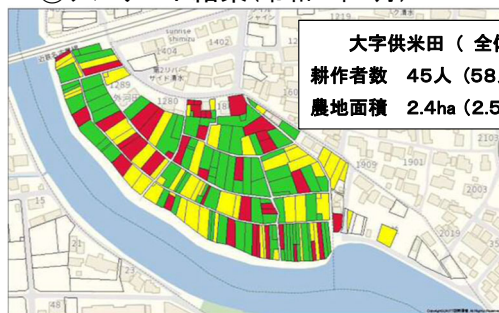
人・農地プランとは

農業の担い手の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加といった「人と農地の問題」を解決するために、地域における農業関係者の話し合いをもとに、その地域の将来の方向性を定めた計画。

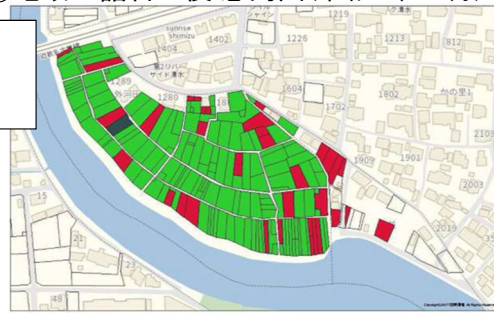
農林水産省が平成24年から始めたもので、名古屋市では平成28年に港区南陽町で始めて人・農地プランが作成された。



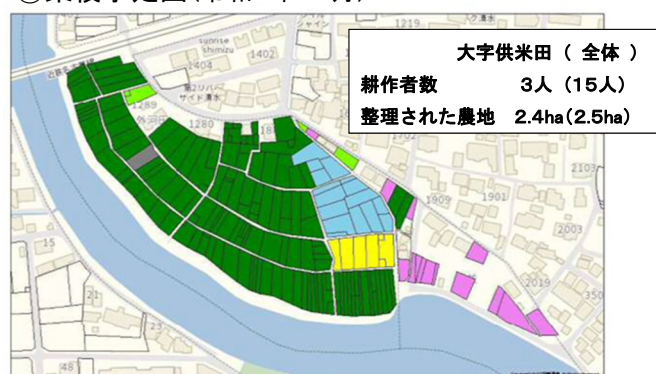
①アンケート結果(令和2年2月)



②地域の話合い後 意向図(令和2年10月)



③集積予定図(令和2年11月)



供米田地域アンケート結果

令和2年2月に実施(未返送の方に令和2年6月に再発送)し47世帯中39世帯が回答

農業後継者はいらっしゃいますか。(全体39)

1. 経営主の家族・親戚	8(20.5%)
2. 1以外の農業者	1(2.6%)
3. 後継者の目処はついていない	27(69.2%)
4. その他	3(7.7%)

問2 ご所有の供米田地域の農地は、どのように管理していますか。(全体39)

1. 自身または家族で管理している	12(30.8%)
2. 全ての作業を業者に委託している	6(15.4%)
3. 一部の作業を業者に委託している	12(30.8%)
4. その他	11(28.2%)

問3 問2で「2.」及び「3.」と回答した方は、委託内容をお答えください。(全体18・複数回答可)

1. 全作業	4(22.2%)
2. 耕起	8(44.4%)
3. 代かき	6(33.3%)
4. 田植え	1(5.6%)
5. 稲刈り	5(27.8%)
6. その他	1(5.6%)
7. 無記入	1(5.6%)

※問4省略(問2で「3.一部を業者に委託」と回答した方に場所を聞くもの)

問5 あなたの世帯が農業について抱える問題点がありますか？(全体39・複数回答可)

1. 高齢のため農作業ができない	18(28.2%)
2. 経営が成り立たない	15(38.5%)
3. 後継者がいない	24(61.5%)
4. 農作業以外の仕事で忙しく、農作業ができない	6(15.4%)
5. 土地を相続したが、農作業の知識がない	8(20.5%)
6. その他	7(17.9%)
7. 特に問題はない	2(5.1%)

問6 都市公園事業の着手までの期間、農地利用の意向についてどのようにお考えですか。当てはまるものすべて回答してください。(全体39)

1. 農地の受け手となり、農業経営規模を拡大したい	0(0.0%)
2. 借りてくれる人がいるなら貸したい	22(56.4%)
3. 引き続き自ら農業を営みたい(作業委託も含む)	6(15.4%)
4. その他	9(23.1%)
5. 無記入	1(2.6%)

問7 問6で「2.」と答えた方への質問です。(全体22)

1. 供米田の所有農地をすべて貸し出したい。	17(77.3%)
2. 供米田の所有農地を一部は自身で管理したい。	5(22.7%)

問8 問6で「2.」と答えた方への質問です。貸出す際に、重視する条件は何ですか。当てはまるものすべて回答してください。(全体22)

1. 賃料	6(27.3%)
2. 公租公課の貸主負担	11(50.0%)
3. 貸出期間	9(40.9%)
4. その他	6(27.3%)

問9 問6で「3.引き続き自ら農業を営みたい」と答えた方への質問です。(全体6)

1. 今の場所で引き続き農業を行いたい	2(33.3%)
2. 他の場所(暫地)で耕作してもよい	0(0.0%)
3. その他	1(16.7%)
4. 無記入	3(50.0%)

問10 何かご意見がありましたら下記に記入をお願いします。(主なもの)

- ・戸田川緑地の公園事業による買収を早くしてほしい(多数)
- ・アンケートの集計結果を必ず教えてください。
- ・できれば売却したい。
- ・耕作出来なくなったらお願いします。

- ・高齢化、後継者不足、経営難といった問題を抱える方が多数。
- ・公園事業を進めて早く買収してほしいと考える方が多数。

5

供米田地域における話合いの経過と概要

出席者：地域の農業者、農業土木委員、農業委員・農地利用最適化推進委員、担い手候補者、JAなごや、愛知県、農地中間管理機構、名古屋市

日 程	概 要
9月13日 第1回話合い	出席者 22名 ・市より精度説明、担い手候補より自己紹介等 ・2月アンケート結果及びアンケートを基に作成した地図の確認 ・話合い終了後に再度意向のアンケート実施
10月7日 担い手との 交流会	出席者 25名 ・9月13日アンケートの結果、意向を保留とする世帯が多数 ・改めて市の制度説明、担い手候補による説明及び農家の疑問を解消するための話合いを実施
10月25日 第2回話合い	出席者 30名 ・10月7日以後の意向を反映した地図の確認、多数が貸出希望へ ・農地中間管理事業を活用して担い手候補へ集積すること、自作継続者と条件及び耕作場所を整理していくことの確認
11月3日 耕作場所調整	・担い手、自作継続者、農業土木委員及び名古屋市が集まり、条件及び耕作場所の調整を実施

- ＜主な質問＞
- ・担い手が耕作を継続できなくなったらどうなるのか？
 - ・公園の買収が早まったらどうなるのか？
 - ・大災害が起きた場合はどうなるのか？
 - ・自作を続ける場合、農地中間管理機構をどのように利用するのか？

6

名古屋市人・農地プラン検討会

令和3年1月14日

- ・名古屋市農業委員会 会長
- ・JAなごや 営農センター センター長
- ・農村生活アドバイザー
- ・認定農業者
- ・女性農業者
- ・愛知県農地中間管理機構 農地第三課長
- ・愛知県農林水産部農業振興課 課長補佐
- ・名古屋市地域農業再生協議会 会長

名古屋市（事務局）

緑政土木局参事、都市農業課課長・農政係長・主査・主事
中川区役所主幹

7

名古屋市中川区供米田地区人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
名古屋市	中川区供米田地区 (供米田・包里の一部)	令和3年2月8日	—

1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	2.7ha
② アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	2.6ha
③ 地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	1.6ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.3ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.7ha
(備考)	

8

名古屋市中川区供米田地区人・農地プラン

2 対象地区の課題

- ・高齢のため農作業ができず、後継者のいない世帯が多数存在する。
- ・長期にわたって基盤整備事業が行われていないため、区画が細分化されており、経営が成り立たない。
- ・都市計画公園事業(戸田川緑地)の実施予定区域であり、公園用地としての用地買収後は耕作ができなくなる。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・当地域の水田利用は、中心経営体である認定新規就農者1経営体及び自作継続する2経営体が担う。
- ・中心経営体への農地の集約化は戸田川緑地の事業着手まで継続し、事業着手後の農閑期に終了する。

(参考)中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引き受けの意向		
		経営作物	経営面積	経営作物	経営面積	農業を営む範囲
認就	■■■■■	—	0ha	水稻他	2.1ha	地区全域

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

- ・貸付等の意向が確認された農地は、176筆、2.6haとなっている。
- ・当地域の水田所有者は、貸付希望者、自作者にかかわらず、原則として農地を農地中間管理機構に貸し付け、中心経営体及び自作者への農地の集積・集約を進める。

終

名古屋市農業委員会 会長 岩田公雄